

財政福祉委員会(12月14日) 山口きよあき副委員長・さいとう愛子議員

# 大病院の初診料加算を義務づけ 西部(500床) 東部(498床) で加算を検討中

名古屋市は12月14日の財政福祉委員会で、紹介状なしで大病院に受診した場合の定額負担の導入についての検討状況を説明しました。

## 来年4月から実施

国の社会保障制度改革推進本部が今年1月に紹介状なしで大病院を受診した場合の定額負担の導入、義務付けを決定し、来年4月1日実施に向け、金額や対象病院などが検討されてきました。病院局は4月実施に向けて理解を得たいと、まだ詳細がわからないまま今回の説明となりました。

## 現行1000円が5000円に？

現行は200床以上で国に届出をしたところは徴収できることになっており、市民病院は初診加算を1080円徴収しています。4月からは5,000円などの最低金額が設定され、各医療機関が設定することになります。再診時にも徴収することになると説明があり、市では病院条例の改定が必要となります。

## かかりつけ医はまだ6割

大病院に紹介状なしで受診する人を規制する目的は、

名古屋市内の大病院の初診料加算状況(平成27年11月1日現在)

区分	病床数(許可)	初診料加算額	再診料加算額	備考
能特病定院機	名古屋大学医学部・附属病院	1035床	4,320円	—
	名古屋市立大学病院	808床	4,320円	—
地域医療支援病院	名古屋第一赤十字病院	852床	5,400円	1,080円
	名古屋医療センター	740床	4,320円	—
	名城病院	364床	2,160円	864円
	名古屋第二赤十字病院	812床	5,400円	1,080円
	名古屋掖済会病院	662床	3,240円	—
	中部労災病院	621床	3,240円	—
	中京病院	663床	3,240円	1,080円
	名古屋記念病院	464床	2,160円	1,080円
	名古屋市立東部医療センター	498床	1,080円	—
	名古屋市立西部医療センター	500床	1,080円	—
病一院般	緑市民病院	300床	1,080円	— 指定管理者

・金額には消費税及び地方消費税の額を含む  
・東海北陸厚生局「保険外併用療養費医療機関名簿」をもとに作成

大病院が専門的な分野に専念できるような診療所と機能分化を図るためとしています。

さいとう愛子議員は、今でも同じ目的で1080円の加算をしている実態を踏まえ、「機能分化は進んだのか」とかかりつけ医の

状況などをただしました。市は「加算料を払っている人は横ばい。加算額は増えれば紹介率が上昇され、診察が抑制される傾向はある。かかりつけ医は市のアンケートによれば61.9%程度」などと答えました。

## 498床を500床にして加算？

西部医療センターは500所以上になり義務付けされますが東部は498床のため対象にかなりません。しかし、名古屋市は、東部医療センターを500床にしてでも、国

の言いなりに加算の義務化をしたいという姿勢を示しています。さいとう議員は「機能分化という目的よりも、負担能力の差によって受診しなくなるのではないかと。お金で差がつくことは問題。払えない人は来るな、我慢せよといことにつながりかねない」と追及しました。

## 救急は加算せず

また、救急車出の搬入など緊急時には現在でも加算していないこと、加算されると3割ほどの外来減も込まれ、財政にも収入減の影響が出るなどが明らかになり、運用面での課題が多いことも明らかになりました。

国での検討状況

項目	内容	備考
対象医療機関	・特定機能病院 ・500床以上の地域医療支援病院	
初診料加算額	案1 : 3,000円 案2 : 5,000円 案3 : 10,000円	最低金額
初診時加算額	案1 : 1,000円 案2 : 初診の1/4 案3 : 初診の1/2	最低金額
歯科	案1 : 医科の6割 案2 : 医科と同額	最低金額